



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）2月15日号 No. 1487

目次

■2009年の日ロ貿易 1	
—過去最大の縮小に見舞われる—	
■トピックス 8	
東邦ガスがサハリンからLNG受け入れ／8	
北海道銀行とサハリン州が経済協力協定／8	
■エトセトラ 8	
仙台でロシアセミナー開催／8	
札幌でサハリン水道セミナー／9	

2009年の日ロ貿易 —過去最大の縮小に見舞われる—

はじめに

日本財務省から2009年の貿易統計が発表されたことを受け、当会では2009年1～12月の日本とロシア間の貿易に関し、輸出入商品構成をまとめた。そこで、今回の速報では、早速この資料をお届けする。

なお、今回紹介する2009年のデータは、すべて速報値である。当会『調査月報』5月号（4月20日発行）において、確定値を掲載するとともに、より詳しい解説をお送りする予定である。また、ロシア以外のNIS諸国との貿易額は前号に掲載済みだが、輸出入商品構成は『調査月報』6月号（5月20日発行）に掲載予定だ。

本資料では財務省発表の円表示の貿易統計を独自にドル換算して示している。その際に、図1、表1、表3、表5が月ごとの為替レートで換算した数値を積み上げたものであるのに対し、表4および表6は年平均レートで単純に換算したものであり、したがって両者は総額が微妙にずれているので、ご注意されたい。

2009年の日ロ貿易は、輸出入合計で121億4,855万ドルとなり、前年比59.0%縮小した。とくに輸出の落ち込みが激しく、前年比79.8%減の33億68万ドルに終わった。輸入の落ち込みはそれよりは小幅だが、それでも前年比33.4%減であり、88億4,787万ドルにとどまっている。いずれも、日ソ／日ロ貿易の時代を通じて、史上最も大きな縮小率を記録してしまった。また、「日ロ貿易は不振の時は日本側の入超となる」という法則どおり、2009年の日ロ貿易の収支は55億4,720万ドルと、過去最大の入超を記録した。2008年夏まで続いてきたバ